

紙飛行機ロボットと遊びの可能性

～モノづくりを通じた交流支援～

徳山工業高等専門学校 機械電気工学科 5年 濱野悠生

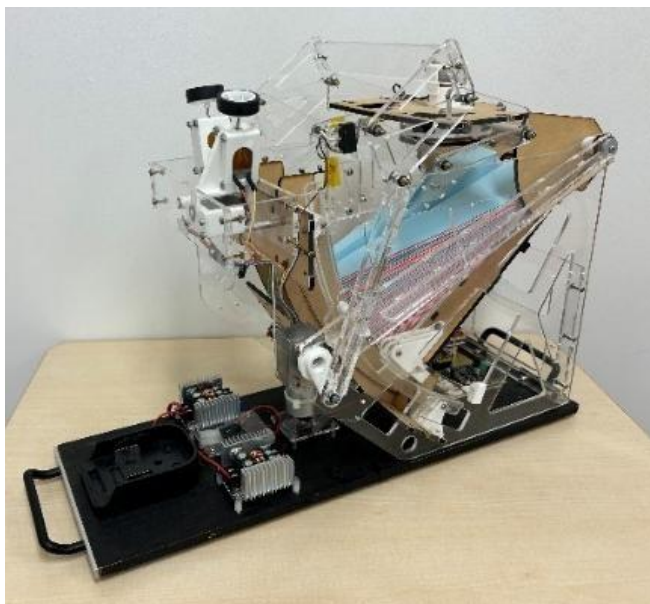


図1:高専ロボコン2022ロボコン大賞受賞機のデモ装置

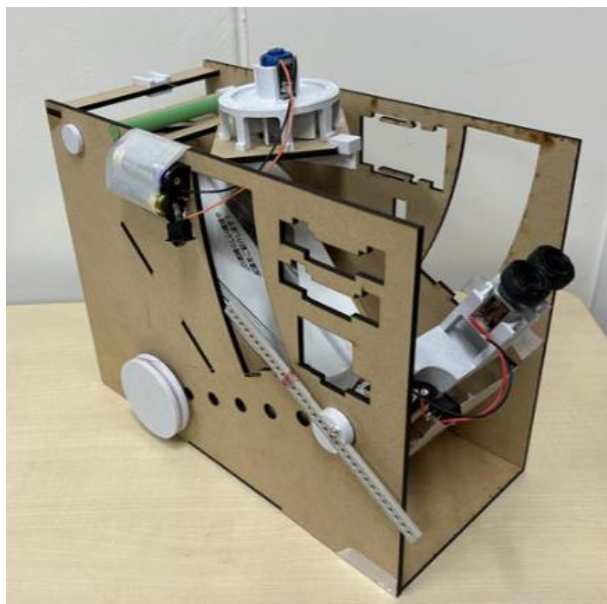


図2:紙飛行機射出装置

・目的:モノづくりを通じた交流支援

紙飛行機を射出するロボットを作成するキットを用いて、モノを作るという共通の目的に向かう体験を通じ、交流を支援するための装置を設計・製作する。

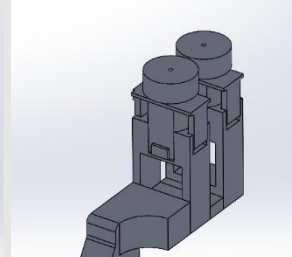
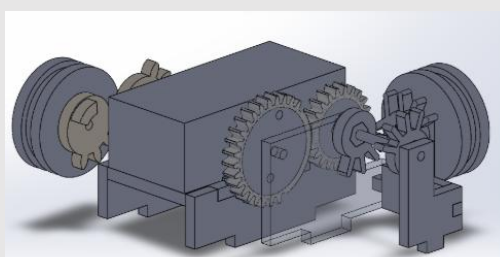
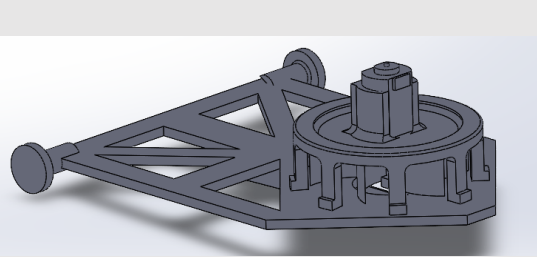
・作成したもの:紙飛行機射出口ロボット

全国高専ロボコン 2022 でロボコン大賞を受賞した「双宿双飛」の射出ユニットを予備部品から復元したデモ機をもとに、作りやすさと遊びやすさを向上させた。

「専門性が低く人手がいない」を目指して

今介護現場で問題になっているのは時間・人手不足と職員の専門性の格差からなる QOL の低下。

これらを改善するため、特別なスキルが必要なく最低限の人眼があれば小さい子でもできるものを目指す。



ロボットに使われている機構。左から、プロペラを使った機構、特殊な歯車を使った機構、タイヤを使った機構。



連絡先: 山口未来変革デジタル人材発掘・育成プログラム

Website: <https://yamaguchi-henkaku.jp/> お問い合わせ: contact@yamaguchi-hekaku.jp